

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2002
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.7 (2002.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20020000-0082

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

第7号が完成しました。今号から編集事務局が浜日出夫さんに替わりました。これにあわせて編集実務に大学院生に協力していただくなど体制の強化もなされました。またビューポイントなど新しい企画が定着してきたことを受けて、本誌の投稿規定及び執筆要項を改定しました。本誌は例年、前年度の大会シンポジウムをもとにした特集を組んでいます。今年は編集委員長である私の連絡タイミングの悪さから、結局執筆を断念された方もおられます。こういう中でシンポジウムの企画者でもあった鈴木智之さんには、在外研究に出かけられる直前まで特集の取りまとめに働いてもらいました。投稿論文は2編あり、査読の結果1編が掲載されることとなりました。この他ビューポイント、書評に各1点の力作が集まりました。委員会の編集過程がどたばたしたのに雑誌が何とか形を整えることができたのは、かなり無理をなされた浜さんの編集事務局のおかげです。鈴木さんが海外に出られ実質2人の編集委員会ではまた各方面に迷惑をかけかねないので、委員会の強化を今後図ってゆきたいと思います。ところで編集過程で学会のシンポジウムは如何にあるべきかという本質的問題が提起され、幹事会等の席上議論がなされました。すぐに結論の出る問題ではありませんが、会員各位が「学問に携わる」ということを自由闊達に議論できるような場を何らかの形で設けられないか考えてみたいと思います。ご意見をいただければ幸いです。

(編集委員長 熊田俊郎)

編集委員会

熊田 俊郎(委員長) 澤井 敦 鈴木 智之
樫尾 直樹(事務局) 浜 日出夫(事務局)

題字は福沢諭吉による

三田社会学

第7号

発行 2002年7月13日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部樫尾研究室内

Fax 03(5427)1578

印刷：梅沢印刷所